

世界都市フォーラム

2012年9月2日～6日までナポリで第6回「世界都市フォーラム」が開催され、マリ・クリスティーヌ国連ハビタット親善大使と山本専務理事が参加しました。国連ハビタット最高責任者のクロス氏より、国連ハビタットが実施する世界都市キャンペーンに日本ハビタット協会もパートナーとして参加するよう招かれました。



国際協力イベント

日本ハビタット協会は各種イベントに参加し、国連ハビタットおよび日本ハビタット協会が実施する居住環境改善事業を紹介し、居住環境の重要性を呼びかけています。国際空港に設置してある募金箱に寄せられた外貨コインを国別に仕分けするワークショップも行い、多くの来場者が参加して下さいました。

10/6～7

日比谷公園：グローバルフェスタJAPAN 2012



10/20～21

象の鼻パーク：よこはま国際フェスタ 2012

11/10～11

アクロス福岡：地球市民どんたく 2012

企業の社会貢献活動

過去半年間も多くの企業の皆様から社会貢献活動としてさまざまご協力をいただきました。
あたたかいご支援ご協力本当にありがとうございます。

● 株式会社新橋スタンプ商会

6月と12月のイベント「世界の貨幣・切手・テレfonカード祭」で募金活動をして多額のご寄附をいただきました。

● JPモルガン

7月に外貨コインの仕分けをして下さいました。

● アクセンチュア株式会社

8月に新入社員の皆様が外貨コインの仕分けをして下さいました。

● 株式会社ジェーシービー

ボランティアで定期的に社員の方々が参加して下さっています。
2013年1月に社内で外貨コイン仕分けワークショップも開催して下さいました。

外貨コイン 仕分け ボランティア

国際空港に設置してある募金箱などに寄せられた外貨コインを仕分けするボランティアに参加してみませんか。毎月第1・3火曜日に日本ハビタット協会の東京事務所にて行っております。年齢、性別、経験を問わず、誰にでも気軽に楽しみながらできる国際協力です。参加をお待ちしています。

お問い合わせ先 Email : info@habitat.or.jp
Tel : 03-3512-0355



会費納入をお願い致します

日本ハビタット協会は設立以来、皆様のご支援により、様々な活動を展開することが出来ました。皆様からのご支援ご協力に心より感謝申し上げます。
引き続き、新たな活動を展開するためにも皆様に会費の納入をお願い致します。

郵便振替：00150-2-17590 日本ハビタット協会 …… 個人会員1口3,000円 法人会員1口30,000円（何口からでも結構です）

紛争・災害後のまちづくりにご協力下さい

人の幸せの基本である「まちづくり」を様々な角度から考え、世界中の人々が安全に安心して毎日を送れるような居住環境をサポートしています。
「人の幸せをささえる“まちづくり事業”」に皆様からご協力を宜しくお願い致します。

郵便振替

00150-3-568405

日本ハビタット協会・まちづくり基金口

三菱東京UFJ銀行 麻町中央支店

普通口座 1519563

日本ハビタット協会

あおぞら銀行 本店

普通口座 6753952-001

特定非営利活動法人日本ハビタット協会

発行：認定NPO法人日本ハビタット協会（発行責任伊木常昭／編集責任山本博子）

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-12 ふくおか会館1階 TEL: 03-3512-0355 / FAX: 03-3512-0358
E-mail: info@habitat.or.jp / URL: <http://www.habitat.or.jp>

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡8階 TEL: 092-724-7121 / E-mail: fukuoka@habitat.or.jp



デザイン・イラスト: 母袋秀典
2013年1月発行



HABITAT まちづくり通信 No.22

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。新年も皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。旧年中は日本ハビタット協会の活動にあたたかくご協力下さり、誠にありがとうございました。おかげさまで、仙台市やラオスでは植林を通して自然と人々の暮らしを守る事業が始まりました。それぞれがコミュニティの復興、成長に大きく役立つことになります。本年も日本ハビタット協会は積極的に活動を展開いたしますので、ご支援下さるようよろしくお願い申し上げます。

認定NPO法人日本ハビタット協会 会長 中村 徹



桑を挿し木で植える菊池さん(2012年5月)



成長した桑(2012年10月)

復興の桑～緑いっぱいプロジェクト in 仙台～



東日本大震災の津波で、東北地方太平洋側の農地は大きな被害を受けました。瓦礫やヘドロは除かれましたが、塩害は残ったままです。日本ハビタット協会は、東京農業大学長島教授の協力で、仙台市若林区荒浜海岸近くの津波の被害が最も大きかった畑に桑の木を植え地域の復興と再活性化を目指すプロジェクトを実施しました。桑にはミネラル等が豊富な上、糖分の吸収を阻止する特有の成分があり、近年では健康食品としても注目されています。

2012年5月に挿し木で植えた75本の苗は、農家の菊地さんの手で大切に育てられ、10月初めには170cmの高さまで育ちました。無農薬で育てられた桑を10月10日に刈り取り、その日のうちにパウダー化しました。健康茶として販売される予定です。

2013年度からはさらに二人の方が加わり、桑の木を6,000本に増やし事業を広げる予定です。今後この事業は農家の方々の手により実施されます。私たち被災された方が元気を取り戻しコミュニティが活性化するよう侧面から支援を続けていきたいと思います。



仙台市若林区荒浜海岸近くの津波による被害

真の復興を祈って

復興の桑プロジェクトは皆様の力の結集で順調に進んでいます。瓦礫に埋もれていた畑に桑が育ち、緑が増えたことは何よりも嬉しいことです。

この地域には300年近く先祖代々の畑を守り続けた方々が大勢いらっしゃいます。良い作物を作るため有機の土づくりから力を入れてきた畑です。これまで農業一筋で生活していた人のほとんどが高齢で、未知の土地に移り新しい仕事を始めることは非常に困難です。

地域の人々が元気を失っていることに危機感を持ち、「私の畑で桑が育つことが分かれば、他にも育てようと思う人が出てくるかもしれない。農業に戻ってくるかもしれない。また仲間たちと一緒に畑に出て仕事をしたい。」と75本の苗を大切に育てた菊地さんは真剣に取り組んでいます。

今年から本格的に大きな事業として広げる「復興の桑プロジェクト」が真の復興となることを願ってやみません。



国連ハビタット親善大使
マリ・クリスティーヌ

緑いっぱいプロジェクト in ラオス

2012年4月よりラオスのルアンパバーン県で植林活動により人々の暮らしと自然を守る事業を実施しています。

2012年7月～9月、のべ168名の村人と協力して21.5haの植林を行いました。保水に役立つ樹木だけでなくマンゴー等の果樹も植林し、住民の暮らしに役立てると共に、実を売って得た収入の一部で新しい苗木を購入して植林活動を継続していきます。

2012年11月、パクウー中学校にて環境保全意識を高めるワークショップを開催し、生徒と教職員約1,000人が参加しました。人数が多くなったため、3日間にわたりの青空教室となりました。質疑応答の中で、自分達が一日にどれくらいの水を使い食物を食べているのかを考えることで、いかに自分達の暮らしと自然との共生で成り立っているのかを知る機会となりました。種まきの方法も学んだことにより、種から苗木を育て育った苗木を山へ移植していくという継続的な植林活動が実現されます。教職員にとっても環境教育を考える機会となり、これからは学校での継続的な環境教育が促されると期待されます。それは、この地域での継続的な環境保全活動につながるものです。来年度はこの事業を拡大し、さらに広い地域で自主的な環境保全活動が進むよう支援していきます。

この事業には、地球環境基金から助成をいただいている。



植林作業



パクウー中学校でのワークショップ

獅子舞で笑顔をつなげよう

地域のつながりと誇りを取り戻すことが復興に向けての力となることを願い、「女川港大漁獅子舞まむし」の各地のイベントでの上演を支援しています。

10月13、14日に新宿御苑にて開催されたGTFグリーンチャレンジデー2012に招待し、獅子囃みによる来場者の厄払いと獅子舞を披露していただきました。女川と東京の人々がふれあうことで、そして獅子舞を通して被災地の方々が一歩ずつ前に進んでいる姿を伝えることで、一日も早い復興に向けての思いを一つにする場となりました。獅子舞の演舞は、来場者の安寧を願うと共に東日本大震災の復興を会場にいる全員で祈念するものとなりました。



幸せのお福分け

2012年6月より「幸せのお福分け募金」を承っています。「お福分け」とは、人から貰った品物や利益の一部などを、さらに友人や知人などに分けることを言います。アジアには自分の誕生日、結婚、出産などのおめでたいことがあると、その「幸せ」を周りの方々に分けるという習慣があります。幸せのお福分け募金は、「福」を分かち合う募金です。

お福分けをしてみませんか

自分に良いことがあった時、幸せな時、その舞い込んだ「福」を分かちあうと幸せはもっともっと広がります。皆様から寄せられた幸せのお福分け募金は世界中の困難な暮らしを余儀なくされている人々の支援につなげていきます。

お福分け募金は下記までお寄せ下さい。

●みずほ銀行 麻町支店 普通口座 8057644 特非)日本ハビタット協会

●郵便振替 00150-3-568405 日本ハビタット協会・まちづくり基金口
※振込用紙にお福分け募金とご記入下さい

●クレジット・カード(VISA、Master Card)でもご寄付いただけます。
※日本ハビタット協会のホームページより手続きをお願いします。▶▶▶ www.habitat.or.jp



写真が伝えるものがたり「あの日のこと」三島公演

多くの人々が東日本大震災を心に留め、そしてこの大震災のことを伝えながら、いのちの大切さや人間の尊厳について考える舞台を各地で開催しています。2012年11月3日(土)、日本大学国際関係学部三島駅北口校舎山田顕義ホールにて開催しました。第1部では、仙台出身の報道カメラマン高橋邦典さんの写真映像と宝塚出身のこだま愛さんによる、被災された方が綴った手紙の朗読と音楽を通して東日本大震災の「あの日」と「今」を伝えました。第2部では、東日本大震災の「これから」について考えるトークセッションを開催しました。平野伸吾さん(ハビタットフレンズ三島)、柴崎冬馬さん(響(ひびき))、中神太郎さん(みしボラ!)、登崎涼さん(いくべつ!福島支援プロジェクト)がそれぞれの団体で行ってきた支援活動から見えた東日本大震災について議論が交わされました。



プレゼントを受け取る釜小学校1年1組の子どもたち

ハビタットサンタ

子どもたちが笑顔になる時間を作り出したいと願い、今年もハビタットサンタがクリスマスプレゼントとして本と図書カードを被災地の子ども達に届けました。プレゼントを受け取ったのは石巻市立雄勝小学校、石巻市立釜小学校と南三陸町立志津川保育所の子ども達、計624名です。子どもたちが楽しい冬休みを迎えることができるよう祈りをこめました。



子どもたちから
お礼の手紙が
届きました



子どもの自立支援プロジェクト

東日本大震災で親を失った子ども達は現在ほとんどが親類か知人宅で暮らしています。これから子ども達は進学、就職、そして自立して自分の居場所を手に入れるまで、さまざまな壁に直面することが予想されます。子ども達が困難を克服し自分の将来に夢や希望を持って成長していくよう、里親、児童養護施設、児童相談所などの関係者でつくる「子どもの夢ネットワーク」を通して支援しています。現在「子どもの夢ネットワーク」では、里親家庭出身者を含めた社会的養護に関わる団体のネットワーク整備や子ども達が社会に出て自立していくよう支援するための環境づくりを進めています。

.....書き損じハガキ・切手を支援活動に役立てませんか.....

ハガキ、切手がたくさんの人達の大きな笑顔に役立ちます。不要なハガキや切手(未使用)をお持ちでしたら日本ハビタット協会までお寄せ下さい。外貨コイン・紙幣も承っています。全ての国のコイン・紙幣をお受けいたします。

ご寄付をいただきありがとうございます

2012年7月1日～2012年12月

(敬称略・順不同)

ご寄付 国際ソロプチミスト 八女・沖縄・北九州・南・柳川・熊本・さくら、(有)岩田時計店・住友商事(株)、あおぞら銀行梅田支店・長崎空港ビルディング(株)、ふくおか会館、福岡空港ビルディング(株)、成田国際空港(株)、秋本 敏文、貴田 瞬明、東京永田町ライオンズクラブ・東京櫻ライオンズクラブ・熊本空港ビルディング(株)、(株)新橋スタンプ商会、益見 孝史、中部国際空港(株)、関西国際空港(株)、東京国際空港ターミナル(株)、JR九州高速船(株)、中井 禮子、中村 勇、長崎県東そのぎ町・村山 勝次、真言宗別格本山 東長寺、湘南国際マラソン実行委員会、金井 敏、居酒屋 一心太助、(株)もち吉 太宰府店・シャルダン・神田医院・白須光美、波津 博明、椎名 淑、長島 道子・大貫 ひろこ、村田 由紀、村井 良江、川端 幸子、森 多賀子、春日井 弘、酒井 純子、坂本 春生、左々和子、黒岩 裕子、原田 孝一、原田 義信、建石 教子、栗尾 公一、菊池 ヨネ子、亀田 昭夫、笠 留美子、加藤 弘子、稻子谷 三枝子、安藤 芳子、柿沼 光子、宮田 房子、宮本文雄、落合 由紀、平井 功、久山 純弘、他に、舞台チケット代寄付者として三島公演 27名分

切手・書き損じハガキ 道下 忍、長島 道子、日本航空(株)、菊池 ヨネ子

ご協力いただいた団体 (株) 小学館、MSD(株)、(株)あおぞら銀行、ソフトバンクモバイル、(有)マレイアソシエイツ、ちよだボランティアセンター、台東区ボランティア、中野区、ジャストギビングジャパン、チャリティプラットホーム、ニューサンマー、地球環境基金、NPO ふるさと回帰支援センター、日本フィナンソロピー協会、アジアの女性と子どもネットワーク、ハビタット福岡市民の会、日本大学国際関係学部・短期大学部富桜祭実行委員会、日本大学国際関係学部社会活動部CSA、みしボラ!、響(ひびき)、いくべつ!福島支援プロジェクト、ハビタットフレンズ東京・名古屋・仙台・九州・ユース・中野・ハイワイ・三島